

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成19年度1Q			平成18年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	120万台	570万台	21%	131万台	△11万台	92%
継続検査時等預託	116万台	350万台	33%	613万台	△497万台	19%
引取時預託(後付預託を除く)	21万台	99万台	21%	62万台	△41万台	33%
合計(A)	257万台	1,018万台	25%	806万台	△550万台	32%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	7万台	20万台	34%	4万台	3万台	174%
預託台数合計(A)+(B)	264万台	1,039万台	25%	810万台	△547万台	33%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成19年度1Q			平成18年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,422円	6,400円	22円	6,172円	250円
エアバッグ類	2,446円	2,400円	46円	2,281円	165円
フロン類	2,075円	2,100円	△25円	2,081円	△6円
合計	10,943円	10,900円	43円	10,534円	409円

(3) 品目別の装備率

	平成19年度1Q			平成18年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	87%	90%	△3	67%	20
フロン類	94%	97%	△3	89%	5

(4) 金額

	平成19年度1Q			平成18年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	27,100百万円	108,137百万円	25%	77,061百万円	△49,961百万円	35%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成19年度1Q			平成18年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	120万台	570万台	21%	131万台	△11万台	92%
継続検査時等預託	116万台	350万台	33%	613万台	△497万台	19%
引取時預託	21万台	99万台	21%	62万台	△41万台	33%
合計	257万台	1,018万台	25%	806万台	△550万台	32%

(2) 金額

	平成19年度1Q			平成18年度1Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	590百万円	2,342百万円	25%	1,853百万円	△1,263百万円	32%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

- ①新車購入時預託  
平成19年度第1四半期の新車購入時預託台数は前年度同期実績を下回った。
- ②継続検査時等預託  
平成19年度においては、平成16年度第1四半期～第3四半期に新車販売された乗用車が預託の主な対象となっている。このため、平成19年度第1四半期の継続検査時等預託台数は前年度同期実績を下回った。
- ③引取時預託(後付預託を除く)  
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数の比率が低下している。)。このため、平成19年度第1四半期の引取時預託台数は前年度同期実績を下回った。  
以上を要因として平成19年度第1四半期の再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を下回った。

(※)ASR及びエアバッグ類の単価について

- ①平成19年度において、継続検査時等預託台数・引取時預託台数(後付預託を除く)の減少に伴い、単価が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっている。
- ②平成19年度の継続検査時等預託において、単価が比較的高い平成16年度第1四半期～第3四半期に新車販売された乗用車が預託の主な対象となっている。  
以上を要因として平成19年度第1四半期の単価は前年度同期実績を上回った。

(※)エアバッグ類及びフロン類の装備率について

- ①平成19年度において、継続検査時等預託台数・引取時預託台数(後付預託を除く)の減少に伴い、装備率が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっている。
- ②平成19年度の継続検査時等預託において、装備率が比較的高い平成16年度第1四半期～第3四半期に新車販売された乗用車が預託の主な対象となっている。  
以上を要因として平成19年度第1四半期の装備率は前年度同期実績を上回った。

【平成18年度第1四半期決算との比較】

同上。

②特定資産運用収入－再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
1,971百万円	8,507百万円	23%	1,109百万円	862百万円	178%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

保有債券残高の積み上がりにより平成19年度第1四半期の運用収入は前年度同期実績を上回った。

(※)保有債券残高実績

平成19年度1Q末残高	平成18年度1Q末残高
7,107億円	4,760億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	94万台	360万台	26%	87万台	8万台	109%
エアバッグ類	25万台	90万台	28%	17万台	8万台	146%
フロン類	78万台	273万台	29%	71万台	7万台	111%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

引取業者引取台数が前年度を上回るペースで推移しているために平成19年度第1四半期の払渡台数が前年度同期実績を上回ったことから、平成19年度第1四半期の再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

(※)引取業者引取台数実績

平成19年度1Q	平成18年度1Q
101万台	93万台

(2)品目別の平均単価

	平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a) - (b)	決算(c)	(a) - (c)
ASR	5,936円	6,000円	△64円	5,880円	56円
エアバッグ類	1,902円	2,000円	△98円	1,842円	60円
フロン類	2,091円	2,100円	△9円	2,092円	△1円

(3)金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
7,699百万円	29,155百万円	26%	6,891百万円	808百万円	112%

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
106万台	360万台	29%	98万台	8万台	108%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

同上。

(2)金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
173百万円	660百万円	26%	163百万円	11百万円	106%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
78百万円	227百万円	35%	19百万円	60百万円	416%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

①平成19年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成18年度よりも高い。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率
適用利率	0.004%	0.380%	0.835%
平成19年度払渡	0.004%	0.380%	—
平成18年度払渡	0.004%	0.380%	—

②平成19年度第1四半期の払渡台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として平成19年度第1四半期の未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
18万台	92万台	20%	4万台	14万台	450%

(2)金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
1,828百万円	8,937百万円	20%	400百万円	1,428百万円	457%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

平成19年度第1四半期の輸出返還台数が前年度同期実績を上回ったため、平成19年度第1四半期の再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
12百万円	93百万円	13%	0.5百万円	12百万円	2631%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

①平成19年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成18年度よりも高い。

適用利率	平成19年度輸出返還	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率
	0.004%	0.004%	0.380%	0.835%
	0.004%	0.004%	0.380%	—

②平成19年度第1四半期の輸出返還台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として平成19年度第1四半期の未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
108.7百万円	108.7百万円	100%	761.6百万円	△652.9百万円	14%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

平成19年度第1四半期の特定再資源化預託金等の出えん額が前年度同期実績を下回ったため、平成19年度第1四半期の他会計への繰入金支出は前年度同期実績を下回った。

《参考》出えん実績

出えん先	出えん額(※)	
	平成19年度1Q	平成18年度1Q
指定再資源化機関	—	414.4百万円
情報管理センター	110.0百万円	350.0百万円
合計	110.0百万円	764.4百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
1.3百万円	1.3百万円	100%	2.8百万円	△1.5百万円	46%

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
9,741百万円	39,333百万円	25%	8,421百万円	1,321百万円	116%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

平成19年度第1四半期の事業活動支出の合計額が前年度同期実績を上回ったことから、これらの支出の原資となる平成19年度第1四半期の特定資産取崩収入は前年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成19年度1Q			平成18年度1Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
36,218百万円	130,259百万円	28%	94,451百万円	△58,233百万円	38%

【平成18年度第1四半期決算との比較】

継続検査時等預託台数の減少等により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法の口座への入金額も減少していることから、平成19年度第1四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。